

## 地域密着型サービス事業者 自己評価表

（認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所）

事業者名	東芽室ふれあい館	評価実施年月日	平成19年9月20日
評価実施構成員氏名	細川美枝子 伊藤美貴子 鈴木はな子 吉田人司 遠藤明日香	鈴木たかこ 鈴木里香 木村明美	
記録者氏名	細川美枝子	記録年月日	平成19年9月25日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>利用者の生活背景を理解し、その人が生活してきた環境を提供するように、職員全員が理解し協力している。今の仕事や家庭での役割を、フレアホームにおいて実践できる仕組みづくり、大田区等利用者人と諸に連携する。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>運営理念を掲げ、職員一人ひとりが利用者に理念を提供できるように、フレアホームのサービスの質を高めることと、職員一人ひとりのサービスの質を向上していくよう努めている。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>事業所は利用者の暮らしぶりを家族に月1回おたよりを出して送っている。 より利用者さんの家族や友人が自由にお入りお来りできるようにしている。また、公園等外へ機会をゆかし地域の集りに取り入らせて行きたい。</p>	○	<p>地域のイベント等に積極的に参加したりお祭り等を通して地域の老人や子供たちとの交流をさらに深めていきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>職員は地元の人の姿と日常的なあそびがでまぶらに努めている。 近戸の方から気軽に声を掛け合おう、職員が向に入りきりかけ等をつくる。</p>	○	<p>家族はよく暮らしているが、近所の方からはなかなか立ち寄りおきていないので気軽に立ち寄りより地域に溶け込む環境を提供していきたい。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>老人会、地域の行事等に積極的に参加したい。 又家族の意思も尊重しながら進めて行きたい。 又町内会等にも入っているため地域の活動にも参加したい。</p>	○	<p>外の行事等ある場合家族、地元の人々等声かけし交流することに努めている。</p>
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>今の段階では、利用者の安全確保と介護、健康維持で精一杯であるが、地域の高齢者の取り組みに関しては現状では話し合いはしていない。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価をそれぞれしていたが会議等で話し合い、外部評価の意見を参考にし改善して行く所は、利用者等利用者さんに見える所が認知されてきたりするのでケア等々数回開催		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回運営推進会議を開き情報交換をしている。グループホームでの視察や一斉に各施設など実情を見ていたが、又会議において意見交換の場からの展望等と向き合っている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市町村にも行く機会が、多くあるので不明な点等を問い合わせてもらったりし市町村との連携を大々にしていく		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	市町村の広告等で権利擁護 成年後見制度に入ら学ぶ機会を設けているか出席する機会をのびているので勉強会を開いて取り組みたい	○	地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度に関する勉強会に参加する
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止等の研修へ積極的な参加に努め、日々、虐待が見過ごされることがないように、細心の注意を払っている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約締結時などに家族に対し説明を行っている。又此後相談に訪れており利用者家族に不安、疑問点等何か質問があればお答えしている。利用者及び家族からの電話やホムに訪れる事もお答えしている。又職員間の質問等には説明出来る様取り組んでいる		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常生活の中で、ささいなことにも耳をかたどり 管理者へ報告。より良い運営のため意見等を反映 させています。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>月に1回家族へ多岐にお便りして近況報告 金銭状況内状況 報告を行っている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族等誰に苦情要望 意見と言えり様に 相談窓口を設け意見箱の設置等を考えている</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々のスタッフの中(迷子等)意見のベテリし物など利用者 者の状況に对应 勤務に何時来居たい人には中迷子 ノート等を利用 月に1度のスタッフ会議をとり話し合 機会を作り 提案等聞き 勤務に取り入れてます</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>利用者の日常的、身体的な状況に合わせ 職員は早出・遅出等の勤務変更を行い対応 調整 を行っている 行事や急変時 異動時等に対応して 同様である</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>認知症の方は、人含めた環境変化に対して極めて敏感 であり、取組利用者入院退所の際により通常の 2.3倍の事前準備が必要であり変化が感じられる為、通常 取組職員の異動には配慮し利用者の変化に極力気を つける</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>年に1~2回 新人研修 職員研修と会社で行ったり          その他の法人の研修の業因が来ると出席する様会社より          指導されたり 職員の参加等の希望を聞く</p>	○	<p>新人研修、職員研修等へ積極的な          参加に これからも取組んでいきたい。</p>
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>十勝地域ネットワーク(十勝のケルアホームのみ)の集まり          交流する機会を持ち相互間の訪問等を促          サービスの質の向上に意見をかわしている</p>		
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>相談したり 自ら話し合える環境づくりとし 悩み          を聞き入れる体制にしている          親睦会等 交流の場等の機会も作っている</p>		
<p>22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>勉強会の参加やホーム内の勉強会を通じて          向上心を持ってもらうよう努力している</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
<p>23 ○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>利用者から話す不安な事 求めている事を把握している          利用者から困りや不安な事、理由等、コミュニケーションを          持っている。認知症のため、その聴取には専門的          な知識と経験が必要なので、育児支援等職員          間で協力し、努力している</p>		
<p>24 ○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談時時にホーム内の生活に対する不安や          経済的な負担に対する不安等をよく聞き受け止め、且          同勤務の中でリターンを決め相談に乗れように          人材確保をしようとしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要としている支援を介護計画にあげ、サービス提供に努めている</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>入居前に利用者・家族に何回か来所頂き、部屋の様子から内の雰囲気を感じてもらい、利用者から聞いて生活して頂ける様、家族と相談を密に行っている。本人の嗜好や生活リズムに合わせた配慮をするよう努めている。又利用者同士職員の間に入り、馴染めるよう努める</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>一日のうち、必ず一度は、話し相手になり、家事等のお手伝いをしていただくようにしている。また、月一度、全員一緒に外出等でも、喜怒哀楽を共有できるように努めている。職員は利用者への生活理解指導(信頼関係の構築)に努めている</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の状況や心情を理解し何でも話し合える関係を築くように努めている。家族の立場を踏まえ利用者へ支援している。家族の抱える問題を共有するよう努力し利用者へ家族の間に入り寄り添った連携を大切にしている。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>おやつ、レクリエーション、入浴、外出時等のコミュニケーションを通じ、入居前の家族との関係を聞く場、時間を設けている。職員は利用者へより良い関係作りに努めている</p>		
<p>○馴染みの人や場所との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>認知症を患う利用者にとり、時折家族、知人の認識が曖昧な事があるか、職員の間に入り関係を築くためのサポートや支援をする。近くに住むこと、ホームに入居する事があるため積極的に受け入れし知人との関係途切れないよう支援する</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>31 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>夏には外出し食事をしたり音楽に外出する。</p> <p>室内においてはラジオ体操をしたり歌・ゲーム等をして交流を持っている。自走出来ない車椅子利用者を他の利用者と一緒に押す事がある。ようきりかみでケアしている。</p>		
<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>32 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>サービス利用が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者等に対しては、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。又、移動になった利用者さんに対して会いに行く機会をつくらしている。</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
<p>○思いや意向の把握</p> <p>33 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>職員と人間関係を円滑に意向の把握に努めている。意見表現の困難な方は本人本位の介護ができるよう。カンパニスマ換言し実施している。又職員には常に利用者本人の立場に立ち、考えるように指導している。</p>		
<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>34 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>家族さんホームを暮らした時に一人一人の生活歴や趣味等の情報を収集しケアに活かしている。</p>		
<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>35 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>介護記録等で利用者一人一人の1日の暮らし方を記録し、利用者の心身状態有する力の現状把握等をカンパニスマで話し合い検討している。利用者一人一人のペースに合わせた日常生活を支える努力をする。生活リズムがくずれないようにいろいろな場面と考え整合性を確保する。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>36 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>月1回カンパニスマを開催し、職員の意見、アセスメントを取り入れ介護計画を作成している。又本人・家族等との話し合いも含め介護計画に反映している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期3ヶ月毎見直し(しているが)退院や状態変化時には随時見直し(している)		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	各々のケアで気づいた事は毎月のミーティング、スタッフ会議、申し送りシートを利用して情報を共有し、日々のケアへと行なっている。個人の個別の記録とケアプランの記録欄を分けて記入し記録閲覧、評価をしやすく見直しに生かす		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	卒後のケアにホームなので本人や家族の希望を聞き他の施設等の紹介等を行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	夏祭り行事参加等にボランティアの来苑は多く幼稚園の運動会を援文化の面では芸術鑑賞等を行っている。関係者との連携もしている。年2回消防の避難訓練に参加し協力支援は頂く	○	呼び掛けポスター等掲示しているか、こみかさを継続して働きかけたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	本人や家族の希望を聞き他の施設等の紹介を行っている		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	介護保険更新、障害者手帳の年費き等で訪問はしているがケアマネジメント等には参加していない	○	どういった風に協働しているか検討している



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>43 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>叔や家族の希望の病院受診を頼り、 これ様健康管理している 往診等もしていたなく事もある</p>		
<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>44 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>大江HPの認知症外来を利用している 皮膚科、歯科は往診を依頼し受診しやす い治療を針灸による支援している</p>		
<p>○看護職との協働</p> <p>45 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所にて看護職員を確保している かかりつけの医療機関には気軽に相談 出来る看護職がいる</p>		
<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>46 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>日常生活の情報提供、洗濯物を取りに行 たり外へ来た洗濯物をHPまで運ぶに付、面会 頻度が多い。HPとの連携に於いて治療計画と家族 共に説明を聞き早期退院を目指している</p>		
<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>47 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>看取りに向ける指針への同意を得ている。早段階 より叔家族並みに担当医師とよく話し合い、そ れに基づいて方針を共有している</p>		
<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>48 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>看取りに向ける指針の同意の中でできること、できない事 を説明している看取り介護が必要とされた 利用者さんはまたいはいせん 医療チーム利用者の家族の希望を組みホーム として最善のケアに努める</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入所前入所中の生活状況の情報を家族やケアマネ等関係者同士話し合い情報交換をしている。提供と積極的に行っている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>フォーマリーの記録等は外に流さないよう記録等を持ち出し禁止 スタッフ会議等を定期的に接遇と取り入れ課題の対応等協議し協力指導統ける</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者さんに対してはいつも相言葉や意思決定をその場面で行う その人一人に合わせた説明を行っている 支援している</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入所者さんの状態やペースに合わせてその日ごとの様子は過さずかその日の朝の申し送り等を聞き把握し、介助、援助を行っている</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>理容美容は本人の気に行っている店を選んでいるホームに来てくれる事もある</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者一人一人の好みを把握しそれに合わせて食事の用意をしている みんな付けたり笑顔で参加している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>55 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>お酒 タバコ等は医師本人家族と相談対応し おやつ等は1人1人の状況に合わせて買物時 選んでもらったり、個人で管理している</p>		
<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>56 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄 排泄のパターンは1人1人を把握トイレ 誘導に行かして記録等している</p>		
<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>57 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>個人に入浴時間も希望があり入浴時普段お話しが来たり 事も多しお話しが楽しいみたい</p>		
<p>○安眠や休息の支援</p> <p>58 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>日本料理中華で野菜のめんどろ、皮を向いてめんどろ 習慣になっている事お午休(していたり) 散歩、テニスコートで日光浴、体操、リフレ-20等を している。夜間服薬も支援している 食生活はリビング等でゆったりした気持ちで休息にしよう</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>59 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>一人一人に合った場面作り、楽しみのお番を作り役割を分担して もういっしょ感持たせよう頑張りに頑張っている (外公園芸、水園、草虫リ、針仕事、料理のお午休)</p>		
<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>60 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>使う事の支援は一緒に買物行き小銭等 おにいたたく</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>お天気の日は外へ散歩に出かける様うしている その日の体調も考慮する。その日の利用者の希望も考慮し、作業、買い物等の希望がある時は、諸に戸外に出かける。</p>		
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>月に1回以上、車までお出掛け、お弁当を食って季節感を感じてもらう行事計画を作成。遠方等お出掛け季節感を味わっている。また、家族等にも連絡し、諸に家族と一緒に楽しめるような取り組みも考えている。</p>		
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望すれば電話、使用料は自己負担し、いつでもかかりやすいようにしている。会話中は少し離れて見守る手紙書、お手紙、いたり住所等は宛名書き等支援している。</p>		
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>客先面会、知人、馬川、深井の人の言、門の人がいつか、お外へ寄り添っていただけよう挨拶。居室の空気も替え、知人に立ち寄りいただけようお茶をいれている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束を行わない、行けない、行差と理解し、ケアに取り組む。</p>		
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全スタッフが鍵をかけることができないと理解している。利用者の状態、スタッフ人数、いろいろな場面の場合、全鍵を数時間かける事がある。極力鍵をかけることができないケアには取り組んでいる。</p>	○	<p>玄関の鍵が閉くとお外へ出る時に、全スタッフが玄関開放できるように取り組んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>室内に入る時は人っし本人に確認を待入室 室内の物を触れる時は本人に確認を待す 入所者の位置を把握できるようにフロアに人必ず いる様にし職員間で声掛けし安全に配慮している</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>本人が物の意味、使用目的等理解できていない 場合は職員の管理、薬、洗剤等持ち出し 口に入れる場合があるため利用者が目に入らな い場所での保管</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>緊急時マニュアルを作成対応 火災訓練は年2回実施し消防職員が来られ 避難訓練も実施している</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>緊急時の対応として、ホム内の勉強会を毎月 備えている。応急手当の対応は定期的に行 っている</p>	○	<p>職員がAED(自動体外式除細動器) の使い方の講習を受ける様を取り組んで いる</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年に一度避難訓練等を行っている</p>	○	<p>地域の方の協力を得られるよう働きか けていきたい</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>日頃より家族に起こりうるリスクについては常に 連絡・説明している。協力の医療機関の連携をし 日々暮らしの中で対応。常日頃緊急に備えた 対応策を話し合う</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	目のバイタルチェック 顔色 食量の摂取量等を見察し、少しでも音段と様子の違う場合申し送りも日中ではスタッフが話し合いより対応し情報交換している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局でもらう薬の内容の説明書をファイルに添付し、変更があった場合申し送り票に記入する。又職員がわかるように伝えている。又服薬の支援と症状の変化がある場合すぐ対応出来る様日により心掛けている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分の摂取 食事の内容等により対応したり、ときどきの運動等も実行している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の嚥下・歯みがき等口の中の汚れ、虫歯の予防等支援している。1人1人の口腔状態を把握し出来ない部分にはスタッフは支援している	○	義歯の洗浄、うがい等も対応し、本人が出来ない場合はスタッフの管理
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	出来る限りバランスの良い食事を作り、水分チェック表を作成し管理している。本人の食量の摂取量等も気を付け対応し管理している		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	室内・ホールの換気にも気を付け清潔を保ち手洗い、食事の前はオシホリ等も対応し等心にかけている。玄関にはビビエールも置き来客者等にも対応している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>79 ○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食中毒予防、食中毒の発生機会に於てあり飛沫には 予防の為に必要に念い消毒し生土を用いて安全断している 台所、手洗いは定期的な消毒に努める。食材に関し は賞味期限等考慮し必ず火を通し情報に即応している</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関周りに花、人形等と飾り、又外に花土壺、菜園を作り 季節を感じさせる様配している 夏期は気温に合わせて開戸利用し、風通しを良くしている</p>		
<p>81 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>常に空気の入れ替え清潔に心がけている。フーン等おいては 季節の花飾りなど四季を又取りこめる。居心地のよい生活 空間と心掛けている。火の付いた食料等と料理の火の音の聞こえ を減らしている</p>		
<p>82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング、和室、食堂、座り椅子の固定、気の合った入居者同士が 隣りに座れる様工夫し自由に過ごせる様配している。</p>		
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時、以前お使用していた馬刺染みの物を持参していただき、 安心して過ごしている様配にしている。 利用者ごときよりの家具と使用、懐かしい物も取り入れ、又 本人の好きな方は今更読みの物を持参していただく様配にしている</p>		
<p>84 ○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>空気のよみ換えは、AM・PMに窓を明け替え、臭いに関しては、 消臭剤を使用、温度調整も日に合わせて行っている。 又夏は扇風機、冬は加湿器を使用している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ、風呂場には手摺を設置している。玄関には掃き取りマットがあるので靴を履き替えやすいようにしている。廊下幅が広いので車椅子を使用時安全である。トイレの使用時入浴しやすく配慮している。利用者の自立した生活を支援する工夫がある。</p>		
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所、個室の場所がわかりやすいように写真や札、ハウジング入り口に番号、目印には混乱のない生活にしている。室内に置いてある蛍光灯等に3分ほど長く長い寿命を付けて使っている。オスのけいせいにやさしい目印や持ち物は8割はオスのけいせいで揃えている。</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>気候の良い季節にはベランダに木で外壁にあたる夕日車庫に植えている。花、野菜等を植え、野菜の収穫を（もらい）季節を感じてもらっている。</p>		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①毎日ある</li> <li>②数日に1回程度ある</li> <li>③たまにある</li> <li>④ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての利用者</li> <li>②利用者の2/3くらい</li> <li>③利用者の1/3くらい</li> <li>④ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①ほぼ全ての家族</li> <li>②家族の2/3くらい</li> <li>③家族の1/3くらい</li> <li>④ほとんどできていない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

夏祭り等年に1-2回地域他グループホームの利用者や家族等と一緒にステージでダンスや余興(民謡、ひょうり、ビンゴゲームなど)に参加し又ボウリング等の参加を募り、地域のイベントにグループホームの存在等と認識してもらい、楽しく遊んでいただく取り組みをしている。又利用者さんへ不安の少ない生活様式や気持ちで毎日を過ごして満足感を持って検査可能な最期を迎えたい事を目標にスタッフ一同日々努力し医療と密に連携し事故と病気に早期対応している。